

2025 年度 小委員会活動成果報告

(2026 年 2 月 2 日作成)

小委員会名	建設 3D プリンティング建築物の生産・施工研究小委員会	主 査 名：西脇 智哉 就任年月：2025 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)	委員長名：野口 貴文 主 査 名：杉山 央
設 置 期 間	2025 年 4 月 ～ 2029 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	近年、急速に研究開発・実施工などが進み注目を集める建設 3D プリンティングについて、建築物に適用する場合の部材生産・施工技術や実施例、試験項目・方法（案）などの情報を集約して 3D プリンティング建築物の生産・施工についての考え方を示す。ここでは、非構造部材としての適用を主眼にする予定である。ここで集められた情報は隔年を目途としてシンポジウムを開催して会員や一般に向けて広く公開し、建設 3D プリンティングによる建築の実現に向けた機運を醸成する。ここでは、将来的な設計・施工指針の土台となる 3D プリンティング建築物の生産・施工の考え方（仮称）の執筆を目指す。 ・初年度：建設 3D プリンティングに関する国内外の情報（実施例・試験方法や ISO ほかの規準類・研究論文など）を収集・整理する。参加委員や有識者から、各機関での取り組み・実施例などを紹介して議論する。これらの内容を随時公開するための方法を検討する。 ・2年度：シンポジウムを開催して、収集・整理した建設 3D プリンティングの情報を会員や一般に広く公開する。初年度から継続して、国内外の最新情報の収集・整理、および、参加委員や有識者からの取り組み紹介を行う。これらの内容は可能な限り随時公開するとともに、3D プリンティング建築物の生産・施工の考え方（仮称）の骨子を検討する。 ・3年度：国内外の最新情報の収集・整理、および、参加委員や有識者からの取り組み紹介を継続する。これらの内容は可能な限り随時公開するとともに、3D プリンティング建築物の生産・施工の考え方（仮称）の執筆に着手する。 ・4年度：シンポジウムを開催して、収集・整理した建設 3D プリンティングの情報を会員などに広く公開する。ここまでに集約・公開した内容を取りまとめて、3D プリンティング建築物の生産・施工の考え方（仮称）の刊行を目指す。	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無	
	主査：西脇智哉（東北大学） 幹事：梶田秀幸（前田建設工業） 委員：東大智（會澤高圧コンクリート）、兼松学（東京理科大学）、坂上肇（大林組）、佐々木哲也（高橋カーテンウォール工業）、白井和貴（北海道大学）、土屋直子（国土技術政策総合研究所）、寺西浩司（名城大学）、寺本篤史（京都大学）、永井香織（日本大学）、中島忠大（清水建設）、福山智子（立命館大学）、松沢晃一（明治大学）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2025 年度予算	430,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	

催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 国内外の実施例や規準類を踏まえつつ、JASS 14 を軸に 3D プリント建築に適用する際に検討すべき主要項目を整理し、今後の議論の土台を構築した。 2. 論文調査に加えて、実務・設計・施工の観点から、目地や出来形管理、ひび割れ対応など未整理の論点を抽出して課題を設定した。
委員会活動の問題点・課題	1. 建設 3D プリンティングが対象とすべき範囲が広く、既存 JASS や施工・規準・管理方法などとの関係整理に時間を要し当初予定の開催回数を確保することが難しかった。 2. 事例収集などの情報公開方法についての議論が次年度の課題として残った。